

令和4年度デュアルアスリートプロジェクト事業
『障がい者スキー交流会2023』 開催要項

1 目的

本事業は、これまでの発掘・育成事業において様々な競技に取り組んできたアスリート等に本県の特徴である冬季スポーツ（アルペンスキー競技）の体験会を実施し、県内外で行われる競技大会に出場するパラアスリート輩出を目指すとともにパラアスリートの競技選択や活動機会の拡充を目的として実施する。また、障がい者スキー指導者の認定制度（プロの障がい者スキー指導者）を採用している公益社団法人日本プロスキー教師協会（以下、SIA）の協力の下、安全面に配慮し、未経験者や障がい特性に応じた効果的なスポーツ導入機会の提供にも配慮して行う。

2 主催 岩手県、一般社団法人岩手県障がい者スポーツ協会

3 後援 （公財）岩手県体育協会、（一財）岩手県スキー連盟
（一社）岩手県理学療法士会、（一社）岩手県作業療法士会、岩手県特別支援学校連絡協議会
岩手県障がい者スポーツ指導者協議会 以上、予定団体

4 協力 （NPO）いーはとーぶスポーツクラブ、合同会社 sou、岩手チェアスキークラブ
（一社）インクルーシブ野外教育研究所、岩手県身体障害者スキー協会 （以上、予定団体）

5 講師 公益社団法人日本プロスキー教師協会（SIA）

6 期日 令和5年3月4日（土）～3月5日（日）

7 会場

(1) 実技会場：安比高原スキー場

(2) 宿泊会場：宿泊を希望される方は各自でご予約願います。

8 集合場所（受付時間は日程表をご覧ください）

安比高原スキー場・プラザホール（受付場所はホール前に設置）

9 対象

(1) 肢体不自由、視覚、聴覚、知的障がい等のある方で日頃よりスポーツに取り組んでいる方

※対象は小学生以上です。小中学生については、上記に関わらず体験参加オッケー！

(2) スキー介助に関心のある方やPT、OT、教職員、福祉事業所職員、スポーツ指導者、学生等

10 参加料（リフト料金は当日、受付にて集金いたします）

区分	リフト料金（1日分／2日分）
大人（障がいのある方）	3,000 円／5,000 円
大人（ボランティア、同行者）	無料
小中高（障がいのある方）	2,000 円／3,000 円
小中高（ボランティア、同行者）	2,500 円／3,500 円

11 定員

(1) 両日ともに10名程度

(2) ボランティア・同行者 等は両日とも30名程度

12 申込方法・締切

申込用紙に必要事項記入の上、令和5年2月24日（金）までに郵送またはFAX、E-mailにてお申し込み下さい。体調チェックシートは必要事項ご記載の上、当日にご提出ください。

※なお、障がい者スキーヤーは障害者手帳のコピーをご提出ください。

13 参加申込・問合せ先

〒020-0831 盛岡市三本柳8-1-3 ふれあいランド岩手内

一般社団法人岩手県障がい者スポーツ協会

TEL 019-637-5055 / FAX 019-637-7626 / E-mail : info@iwate-adaptive.or.jp

緊急連絡 090-3363-3649（三浦）

14 内容（下記日程表参照・荒天時変更あり）

※指導は、各障がいに応じてグループ分けをしてで行います。

期日	時間	内容	備考（実施場所等）
3月4日 (土)	9:15~9:45	集合・受付	プラザホール前
	9:45~10:00	開講式	プラザホール内
	10:00~11:45	実技1（グループ内にて時間調整OK）	雪上
	12:00~12:45	昼食（各自でお願いします）	施設内レストラン利用
	13:00~15:00	実技2（グループ内にて時間調整OK）	雪上
	15:15~15:30	閉講式	プラザホール内
	休憩・移動	スタッフは宿舎へ移動	安比ロッキーイン
	16:30~17:00	スタッフミーティング（講師、事務局のみ）	安比ロッキーイン
例年、実施していた全体での夕食会は行いません。			
3月5日 (日)	9:15~9:45	集合・受付	プラザホール前
	9:45~10:00	開講式	プラザホール内
	10:00~11:45	実技1（グループ内にて時間調整OK）	雪上
	12:00~12:45	昼食（各自でお願いします）	施設内レストラン利用
	13:00~15:00	実技2（グループ内にて時間調整OK）	雪上
	15:15~15:30	閉講式	プラザホール内

15 留意事項

- (1) 立位用のスキー用具一式、スキーウェア、手袋、ゴーグル等は各自ご準備ください。
- (2) 障がい等の状況により、使用する用具など調整いたします。
- (3) チェアスキー（モノスキー、バイスキー）は当協会が所有していますが、参加者数により用具が不足することがあります。その場合、時間交代制での貸出しを行うことがありますのでご了承ください。
- (4) 障がい者スキーヤーはヘルメットを着用願います。
- (5) 座位スキーでは雪面が近いので、下半身の防寒対策を十分をお願いします。
- (6) チェアスキー体験の場合、シューズは足を保護できる厚手の長靴タイプのもをご準備ください。
- (7) 傷害保険には主催者で加入いたします。
- (8) 新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、中止となる場合があります。
- (9) 受付時に体温計測を行う他、手指消毒、マスク着用等、感染症防止対策にご協力願います。
- (10) 体調チェックシート内容及び当日の体調により、参加をお断りする場合があります。
- (11) 体調悪化の恐れがある場合を除き、レッスン時もマスク着用願います。
- (12) お食事中はできるかぎり会話を控え、食事会場内でも飲食時以外はマスクを着用願います。

16 使用する用具について

1



2



4



①チェアスキー

日本ではチェアスキーと言いますが、世界的にはモノスキーが一般的。モノ（1つ）ということで1本のスキー板がついています。下肢に障害のある方でも上肢の筋力のある方や握力のある方に適しています。1本板ですのでバランスは不安定ですが操作性が高く、慣れてくるとリフト乗降も一人でできるようにになります。

②バイスキー

重度脳性麻痺や四肢麻痺の方などが使用します。バイ（両方）ということで2本板のスキーがついています。安定性がありますが、ずらしは難しく、減速などスピードコントロールを要するため、必ず介助者が必要です。補助輪の役目を果たす小さなスキーを装着することにより、大きな自立滑走感を味わうことができるのが魅力的！

③スノーカート

上半身が安定し、片方の腕が動けば単独でスキーを楽しむことができます。専用ハンドルで緩斜面を自由自在に滑ることができます。そして2本の板で滑るこのモデルは滑走する斜面を選び、ゆっくり滑れば転倒することはありません。子どもから大人まで楽しめます！

④3トラック（アウトリガー使用）

片足切断等の下肢の機能障害がある方を対象とします。また、一本足でのスキーコントロールを補助するためアウトリガーを使用します。岩手県にも数多くの3トラックスキーヤーがいますが、最近が高齢化によりスキー場で見かける機会は減りました。ヤング世代を含めて体験したい方は是非この機会にご参加ください！

上記の他、立位用のアウトリガーや視覚障がいガイド用機器など様々な障がいに対応する用具があり、多くの方がスキーを楽しんでいます！